

推進テーマ

子どもの育ちや学びを豊かにする
「架け橋期」の取組

富士見台地区

横浜市岩井保育園

横浜市立富士見台小学校

推進テーマ設定の理由

地域の幼児教育と小学校教育の円滑な接続と双方の保育・教育の充実を目指し、保育園と小学校が協同で連携や接続の推進に取り組むため

推進内容

- 幼児、児童の育ちや学びの連続性を踏まえた架け橋期のカリキュラムマネジメント
- 架け橋期の保育・教育の充実

今年度の重点課題

～今年度特に力を入れたこと～

- 大人同士がお互いの施設を訪問し、それぞれの風土を知り合う。
- 子ども同士の交流を中心とする単元を模索し、実行する。

連携推進事業の実際

「お互いの施設を訪問しよう」 ～小学校から保育園編～



小学校職員の感想

- 時計の数字のところに動物の絵が貼ってありました。絵で時間の意識を高めている工夫に感心しました。
- 小学校に比べると職員の数が多いので、入学したての子どもはギャップを感じるかもしれないな。

連携推進事業の実際

「お互いの施設を訪問しよう」 ～保育園から小学校編～



保育園職員の感想

- 学校の生活や環境を知ることができたのと同時に卒園児が楽しく過ごしている姿に安心しました。
- 卒園して1年も経たないのに、自分のやるべきことをしっかりと行っていて頼もしいと感じました。

連携推進事業の実際

「子ども同士の交流をしよう」 ～運動あそび編～



5歳児と1年生と一緒に「運動あそび」をしました。おにごっこをしたり、いろいろなコースを走ったり、ドンジャンけんをしたり…。

とても暑い日でしたので、終わった後は市民図書室で涼みました。その後は、特別に校長室と職員室を見学しました。

連携推進事業の実際

「子ども同士の交流をしよう」 ～秋あそび編～



小学生の感想

- 秋をたくさん見つけたよ。緑色だった葉っぱが黄色や茶色に変身していたよ。
- 近くの公園で保育園の子どもたちに出会ったよ。見つけた秋を教えてあげたよ。

連携推進事業の実際

「日常的な交流」



岩井保育園の子どもたちが、毎月「園だより」を届けてくれます。

子どもたちは、校庭で体育をしているお兄さんお姉さんを目で追ったり、遊具で遊んだり、「ちょっとだけ小学校体験」をしていきます。

久しぶりに園の先生に会えた小学生もニコニコと近づいてきます。

成果

「私たちのやってきたことは間違っていないかったですね。」
授業を参観し、みんなの前で発表している卒園生を見た保育士の言葉。

「あっ、校長先生だ！」

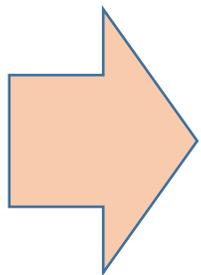
道を歩いていると、声をかけてくれる園児が増えてきたこと。

こんなちょっとしたことこそが、何よりの成果だと考えています。

- お互いに施設を訪問し合うことで、「まずは、知る」ことができた。
- 小学校では校内研究を通し、園における遊びを通した学びについて理解を深めるきっかけをつかむことができた。
- 1年生に限らず、総合的な学習の時間等で、園に目を向ける職員や子どもたちが増えてきた。

課題

- それぞれの行事や暑さ対策、インフルエンザの流行等の影響があり、日程の調整等予定通りに交流を実施することが難しかった。
- 大人同士で計画、実施することが中心で、子ども主体の交流にまでは至らなかったこと。



- 大人同士が交流し、学び合える機会を増やす。
- 日程調整を必要としない交流の方法を探る。